

report 直伝！ワクワク音楽道

(2015年1月13日 第一寺島小学校)

フルート&ピッコロ：渡辺泰 ピアノ：加納麻衣子

「一緒に歌うのが楽しかった！」「こういう授業、また受けたいな」
小学校3・4年生対象のこのプログラムは、各学年45分の授業
型式。「フルート博士になってね」（渡辺）との1曲目はビゼー《アルルの女》より〈メヌエット〉。プロのサウンドが子供の心をわし
づかみにします。

「さてフルートは金管？ 木管？」との質問に、3年生では72人中、
67人が「金管！」と手を挙げます。ところが正解はなんと木管！
みんなびっくりですが、「もともとは木製だったんだけど、広いと
ころで綺麗な音を出すために金属になったんだよ。ほら、みんなが
持っているリコーダーも同じ仲間なんだ。」との説明に納得顔でした。

そして渡辺は次々にいろいろな種類の楽器を紹介します。2曲目
ドビュッシー〈巫麻色の髪の乙女〉ではアルトフルート、続いてスー
ザ〈星条旗よ永遠なれ〉ではピッコロも登場。軽やかな音色に寄り
添いつつも加納のピアノは行進
曲を彷彿とさせる躍動感です。



音はこうやって出すんだよ

実技体験の一場面もありました。渡辺と加納は空き瓶を取り出
し、子供たちと一緒に音を出す実験を繰り返します。子供たちは
苦戦していますが、「ピーピー、フーフー」といった音が教室の中
を駆けめぐります。

そして終盤は全員で曲を演奏します。杉本〈ビリーブ〉は、プ
ロの伴奏に児童が歌う贅沢さ。「またホールにも行きたいなあ」（4
年女子）という声も。こうした取り組みに、「ホールもオーケスト
ラもあるっていうのはなかなかないと、他の区の先生からは聞きますね」「実物を体験することで、
子供たちの学習が深まるんですよ」と教師は手応えを
語ってくれました。

授業前のリハーサルには、「トリフォニーホール・
ジュニア・オーケストラ（※）」に参加している他学年
の児童の姿も。「大きいお兄さんやお姉さんに囲まれて、
なかなか音が出せなくて大変そうだけれど、芯の
しっかりした子供です」と、ジュニア・オーケストラ
の指導にもあたっている渡辺。「おお、今日も聞きに
きてくれたんだ！」とその顔は、ほころんでいました。



※トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ

将来の音楽愛好家の育成を目的に、墨田区の「音楽都市づくり」構想を推進するため、2005年10月に弦楽オー
ケストラとして設立。その後、2006年9月から管楽器・打楽器も含めた編成へと拡大し、フルオーケストラ
として活動を開始。